

2019
夏号
no.61

warming

ペーパーレス化のため記事の全文をwebで公開しております。ぜひご覧ください！



「バケツの穴」を ふさがなければ 地域は活性化しない！

日本の化石燃料の輸入額は
20兆円にも！



セミナー「地域にエネルギーを取り戻す」より

化石燃料輸入のために流出している光熱費は、人口10万人のまちで200億円にも!? エネルギー事業を地域で行い、地域の再生可能エネルギーを最大限に活用し、省エネ事業を行って地域外に流出するエネルギー費用を域内に循環させることが、地域に活力をもたらします。

6月15日に開催したセミナーでの榎原友樹氏 (E-konzal代表取締役) の講演内容をご報告します。(内容の一部を裏面でご紹介)

ラジオを通して未来を語る！



かつらやま

葛山知佳子さんの取組

第9期推進員
府内各地で
活躍中!



府内各地で活躍する京都府地球温暖化防止活動推進員をご紹介するこのコーナー。今回は、第9期から新たに推進員としての活動を開始された葛山知佳子さんにインタビュー。なぜ推進員になったのでしょうか。そして、どんな活動をされているのでしょうか。その素顔に迫ります！



エアコン(冷房)の風量を「弱」にすると、
「自動」よりも消費電力は削減できる？

これは正しいでしょうか。間違っているでしょうか。
その理由もおこたえください。



弱?自動?



いよいよ夏本番を迎えます。今夏も暑くなりそうですね。過度な我慢は熱中症のリスクを高めます。昔とは気温が違います。無理せずに冷房を使いましょう。でもどうせ使うなら、かしく使いたいもの。ぜひ「エアコンの仕組み」を知って、無駄なエネルギーを使わないようにしましょう。回答は、右のQRコードまたは当センターのウェブサイトから。



答えのページはコチラ

セミナー「地域にエネルギーを取り戻す」より

講師榎原友樹氏(E-konzal 代表取締役)の講演内容をご紹介します

日本は、化石燃料の輸入に年間 20 兆円近く使っています。国家予算のうち消費税が 17 兆円、所得税が 18 兆円ですから、これに匹敵する額を、海外に支払っているわけです。これは、まるで穴の開いたバケツに一生懸命水を入れるようなもの。せっかく自動車や電子機器など、日本の技術をいかした産業で外貨を稼いでも、エネルギーを得るためにお金がどんどん流出していくのです。このまま何もしなければ、これがずっと続きます。

試算によれば、私たちが支払うエネルギー費用は、一人当たりおよそ年間 20 万円。仮に人口 10 万人の自治体ならば、年間 200 億円にもなります。この一部でも自分たちのサービスにして地域でまわすことができれば、ど



穴の開いた
バケツ理論

うなるでしょう。これが我々の発想の原点です。
(中略)

今までは、地域でエネルギーといえば、「再エネで発電する」という事ばかりを考えていました。農業で例えると、お米を作る、野菜を作る。しかしそれだけではなかなか稼げない。これからは、例えば野菜を加工して美味しいメニューとしてレストランで提供する。そうすると高く売れる。これはある意味で六次産業化です。電力も、単に売るだけでなく、地域でお金がまわる、きちんとしたサービスをパッケージ化する、いわゆる六次産業の考え方に近いと思います。電気供給だけでなく、地域ならではのサービスを追加しましょう、ということです。

地域サービスとして…

続きは web へ! ▶▶▶



記事全文が掲載された
web ページはコチラ

第 9 期地球温暖化防止活動推進員 府内各地で活躍中

ラジオを通して未来を語る! 葛山知佳子さんの取組

「先週、温暖化防止活動推進員の研修会に行ってきました。その内容をご紹介しますね!」

毎週火曜日の午前、推進員、葛山さんの声で、地球温暖化対策に関する情報が発信されているのをご存知でしょうか。葛山さんは、京都市伏見区にあるコミュニティ FM ラジオ局「京都リビングエフエム」(FM845) のパーソナリティ。暮らしに役立つ温暖化防止情報を、コミュ

ニティ FM ならではの視点で発信されています。

京都リビングエフエムは、2 年間にわたり環境省の補助で COOL CHOICE (クールチョイス) 普及啓発事業を行ってこられました。

当初、番組の中で…

続きは web へ! ▶▶▶



記事全文が掲載された
web ページはコチラ

パソコンからご覧になる場合は当センターホームページの「お知らせ」からアクセスできます。



京都府温暖化防止センター 検索 🔍



メールマガジンでも情報を配信しています。

参加登録方法: 空メールを送信いただくと参加登録のためのメールが送られてきます。✉

当センターでは、インターネットを活用した情報発信を充実させ、紙資源の節約を図っています。

SNSにも
ぜひご登録
ください



ツイッター



ライン



フェイスブック

KCFCA
Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

ADDRESS: 〒604-8417
京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3

TEL: 075-803-1128 (代)

FAX: 075-803-1130

E-mail: center@kcfca.or.jp

URL: https://www.kcfca.or.jp

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。